

当山商事 株式会社

電磁鋼帯の スリット加工・販売に特化

- 納期相談
- 企画力
自信有
- コスト相談
- オンライン技術
- メイイン
ジャパン
- 試作可
小ロット
- 量産
対応



スリット加工前の電磁鋼帯

主な事業内容
電磁鋼帯のスリット加工・販売、
電磁鉄芯の加工・販売など

主な取引先(納入先)
JFEスチール、総合電機・重電メーカー、
電磁鉄芯メーカーなど

主な製品
発電機や電動機(モータ)、
変圧器に使用される鉄芯の鋼板

業務内容 幅広くアンテナを張り、 提案型企業をめざす

当山商事は、電磁鋼帯のスリット加工・販売に特化した会社である。電磁鋼帯とはケイ素(シリコン)などを添加した特殊な鋼帯のことであり、優れた磁気特性と伝導性を有していることから発電機、電動機(モータ)や変圧器などに使用される。鉄鋼メーカーが製造するロール状に巻かれた電磁鋼帯を、ユーザーが使用する幅や重量に精密切断し、加工、品質管理、配送まで行うのが同社の役割だ。

戦後間もない昭和23年に、創業者の当山魁氏が将来の電動化を見すえて、電気製品の心臓部となる電磁鋼板に着目し、同製品を扱う事業を立ち上げた。昭和30年代中頃からは、電磁鋼帯のスリット加工一筋に歩むようになり、現在に至る。社名を商事としたのは、鋼材問屋としての機能だけでなく幅広い分野にアンテナを張り、提案型企業をめざすという意を込めたからだ。

強み 電磁鋼帯の流通・取扱量 では関西トップクラス

事業は自社販売と受託に分かれている。自社販売は鉄鋼メーカーから母材を仕入れて、鉄芯メーカーの注文に合わせて

スリット加工し販売。一方、受託は鉄鋼メーカーから材料の支給を受けてスリット加工し、総合電機・重電メーカーや自動車メーカーに納入する事業だ。

同社の強みは、板厚0.05〜1mmの薄物加工が行えること。対応可能な製品の幅も、7mmの極細幅から1200mm幅までと、守備範囲が広い。また、電磁鋼帯は他の鉄鋼製品に比べて品質への要求が厳しく、独自の検査員制度を導入。溶接機と巻き直しラインを活用して不具合部分を除去するなど、スピード感を持って遂行できる点も強みである。このため、鉄鋼メーカーが取扱・販売ルートを限定する中、同社は電磁鋼帯の流通や取扱量で関西トップクラスを誇る。

来大 期待かかる EVや再エネ向けに

電磁鋼板は電気機器の性能を左右するキーマテリアルで、基本的なインフラに必要不可欠な素材だ。最近では自動車のEV化や再生可能エネルギーの導入拡大により、鉄鋼メーカーも電磁鋼板を戦略品種と位置付けている。特にEV向けの電磁鋼板は、品質への要求がますます高度化すると予想され、同社への期待は大きい。同時に、EV化に寄与する企業として注目が集まるであろう。

社長あいさつ



代表取締役社長
当山 隆一さん

常に最前線でユーザーの皆様と向き合い、専門性を磨いて参りました。近年、EV向けの駆動モータが脚光を浴びており、スリット加工が増えております。これからも安全操業、高品質、安定供給に取り組み、お客様に信頼と満足を提供するものづくりをめざします。

主な保有設備

(非公開)

大阪
05

住所 / 〒569-0844
高槻市
柱本6-31-1
TEL / 072-678-6033
FAX / 072-678-6035
創業 / 昭和23年5月
設立 / 昭和33年5月
資本金 / 3,850万円
従業員 / 30名



スリット製品の梱包



スリット加工作業



<https://toyama-shoji.co.jp>